

文献

- 安藤 正子, 有井 良江, 松土 良子他(1996). 周産期における父性意識の発達と影響を与える要因. 日本看護学会集録: 母性看護, (27), 42-45.
- 青野真歩, 高木恭子, 笹川泉他(2005). 分娩立ち会いが立ち会う夫の感情に与える影響 立ち会い群と非立ち会い群の比較. 母性衛生, 45(4), 530-539.
- 我妻堯(1986). お産と進行. 助産師雑誌, 40(8), 662-667.
- 東優子, 下堂園梨香, 椎木香(2002). 夫立ち合い分娩における意識調査. 鹿児島県母性衛生学会誌. 7, 14-17.
- 東野 妙子(2006). 【"産んでよかった"と実感できるように バースレビュー徹底研究】 バースレビューの方法. ペリネイタルケア, 25(8), 761-765.
- 母子衛生研究会(2010). 母子保健の主なる統計. 母子保健事業団. 47.
- 出口信子, 米村聡美他(1999). 夫の分娩立ち会い体験の自己評価とその関連要因. 母性衛生, 40(4), 468-472.
- 遠藤恵子, 小松良子, 片桐 千鶴他(2001). 「夫立ち合い分娩」に関する研究の動向 -1990年代の国内の看護研究から-. 山形保健医療研究, 4, 1-9.
- 不破麻梨子, 岩崎直美(2010). 夫立ち会い分娩に対する妻の感情に関する研究. 母性衛生, 51(3), 217.
- 我部山キヨ子, 清野喜久美, 伊藤久美子他(2004). 家族立会い分娩と周産期要因の関連性 夫・上子立会い分娩と非立会い分娩の3群比較から. 三重看護学誌, 6, 17-22.
- 月僧厚子(2003). 上の子どもを家族立ち会い出産に参加させた母親の体験に関する研究. 日本助産学会誌, 16(3), 88-89.
- 濱口由貴, 宇田直美, 竹林正美他(2001). 立ち会い分娩をした夫への助産婦からの働きかけ. 日本看護学会論文集: 母性看護, (32), 37-39.
- 早瀬麻子, 島田三重子, 大橋一友他(2006). 陣痛室での付添いと立会い分娩に関する全国調査. 母性衛生, 47(3), 230.
- Horiuchi, S., Kataoka, Y., Eto, H. et al.(2006). The applicability of women-centered care: Two case studies of capacity-building for maternal health through international collaboration. Japan Journal of Nursing Science, 3, 143-150.
- 伊藤久美子, 月僧厚子, 我部山キヨ子他(2005). 上の子立ち会い出産に関する妊娠末期の母親への意識調査(第1報). 日本母性衛生学術集会抄録集, 46(3), 106.

- 伊藤 久美子, 月僧 厚子, 我部山 キヨ子(2008). 上の子が出産に立ち会った母親への産後 6 ヶ月の意識調査 上の子が出産に立ち会った母親の出産体験想起. 日本助産学会誌, 21(3), 158
- 伊藤靖子, 山川美由紀, 鈴木陽子他(2006). 夫の妻や子に対する意識の変化 -夫立ち会い分娩を経験した夫と経験しない夫の比較-. 日本看護学会論文集: 母性看護, (37), 110-112.
- 片岡弥恵子, 須藤宏恵, 永森久美子他(2008). 幼児と妊娠中の母親および家族への性の健康 クラスの影響 クラスに参加した母親の気持ちと家族の反応の変化から. 日本助産学会誌, 22(2), 158-169.
- 河合麻紀, 平井愛子, 馬渡佐知枝他(2003). 性教育の視点から見た子ども立ち会い分娩の効果. 母性衛生, 44(4), 472-480.
- 川城由紀子, 石関真紀子他(2002). 助産師として夫立ち会い分娩をどう考えるか. ペリネイタルケア. 21(6). 79-83.
- 萱間真美(2007). 質的研究実践ノート 研究プロセスを進める clue とポイント. 東京: 医学書院. 31-49.
- Keirse, C.M., Enkin, M., & Lumley, J.(1989). Social and professional support during childbirth. Effective care in Pregnancy and Childbirth. 805-814.
- 木村好秀, 加藤さつき(1997). 夫立ち会い分娩. 周産期医学増刊号. 27.
- 小島康夫(2003). 乳幼児のきょうだい関係. チャイルドヘルス, 6(7), 9-13.
- 久保田君枝, 南谷佐知子(1996). 妊娠時期による、妊娠・出産のイメージの変化. 静岡県立大学短期大学部研究紀要. 10 , 173-182.
- 藏元直子(2008). 母親の出産に参加した子どもの体験とその意味. 日本助産学会誌, 22(2), 124-135.
- 正岡 経子(2003). 開業助産師の分娩期における意思決定. 日本助産学会誌, 17(1), 6-14.
- 三井奈々, 坂本祐子, 有信みき他(2009). 分娩期に夫が望む助産師・看護師の関わり. 岡山県母性衛生, (25), 35-36.
- 三上里枝子, 村山より子, 久米美代子他. (2009). 立ち会い出産を通して変化する夫の気持ち. 日本ウーマンズヘルス学会誌, 8(1), 65-73.
- 三浦好美, 清水ゆかり(2001). 夫立ち会い分娩に関する夫婦の意識の違い. 母性看護, (32), 11-13.
- 宮崎麻美, 力山玲子, 川崎美希子他(2009). 夫立ち会い分娩における産婦と夫の感情と満足度に関する研究. 母性衛生, 50(3), 158.

- 森崎 聡美, 小川 久貴子(2003). 夫立ち会い分娩に臨む夫婦への援助の方向性 夫立ち会い分娩でより満足が得られるために. 日本ウーマンズヘルス学会誌, 2, 104-111.
- 森田健一, 岡田由香, 久納智子他(1998). 現代夫婦の夫立ち会い分娩に対する意識について. 愛知母性衛生学会誌, 16, 103-110.
- 毛利多恵子(2009). 会陰保護にはこだわらない 出産環境を見直す. ペリネイタルケア, 28(10), 990-994.
- 内藤久美子, 名取初美(2006). 夫立ち会い分娩に対する夫と妻のとらえ方. 山梨県母性衛生学会誌, 5(1), 25-30.
- 中島通子, 牛之濱久代(2006). 出産前教室に参加した夫の立ち会い分娩に対する意識調査. 母性衛生, 46(4), 588-597.
- 中島通子, 牛之濱久代(2007). 立ち会い分娩後の夫の意識に関する研究. 母性衛生, 48(1), 82-89.
- 西部敦子, 立山サナミ, 川寄有紀他 (2011). 家族同伴分娩における助産師の役割の再考. 兵庫県母性衛生学会雑誌, (20), 18-22.
- 野口真貴子(2002). 女性に肯定される助産所出産体験と知覚知. 日本助産学会誌, 15(2), 7-14.
- 及川裕子(2005). 親性の獲得過程における変化とその影響要因の検討. 日本ウーマンズヘルス学会誌. 4, 81-91.
- Odent Michel(1998). 赤ちゃんの眼で 22 世紀を考える. 金光一郎訳. 同明社.
- 小川明子(2006). 総論: パースレビューの意義. ペリネイタルケア, 25(8). 10-14.
- 小原美和, 郡司信子, 平塚政子他(2008). 立会い分娩のアンケート結果から考える夫の役割と援助のあり方. 福島県農村医学会雑誌, 50(1), 44-47.
- 小此木 啓吾, 持丸 文雄(1988). 周産期の臨床と父親の役割. 周産期医学, 18(1), 115-119.
- 大井けい子(1998). 妊婦が望む出産の在り方 -基本的欲求満足度の分析から見て-. 自治医科大学看護短期大学紀要, 6, 1-8.
- Pope, R., Graham, L. & Patel, S.(2001). Women-centered care. International Journal of Nursing Studies, 38, 227-238.
- 桜田 幸代, 宮本 康子, 中村 晶子他(1991). 父性意識向上へのアプローチ 夫立ち会い分娩後の意識調査. 日本看護学会集録: 母性看護, (22), 56-58.
- 佐々木綾子, 田邊美智子, 木下瑞希(2000). 経産婦における助産所分娩選択と分娩体験の特徴の検討. 日本母性看護学会誌, 1(1), 43-54.

- 佐々木和子(2001). 「夫立ち会い分娩」に関する産科勤務者の意識調査. 医療, 55(9), 419-423.
- 佐藤郁哉(1992). フィールドワーク-書を持って街に出よう-. 新曜社, 133-134.
- 佐藤真由美, 安達万理子, 宮川葉子他(2005). 陣痛室夫立ち会い分娩時の夫婦の感情. 日本看護学会論文集: 母性看護, (36), 3-5.
- 関根憲治, 関根憲他(2004). 【周産期ケア エビデンスを求めて】 産科編 分娩・産褥 夫立ち会い分娩(Husband present at birth)はメリットがあるか? 周産期医学増刊号, 34, 352-353.
- 白井希, 片岡弥恵子(2011). 東京都における子どもが参加する出産の現状. 聖路加看護大学紀要, (37), 1-5.
- 鈴木敬子, 大町寛子, 水谷幸子他(2003). 女性が出産に望むこと 助産院での調査より. 母性衛生, 44(1), 98-104.
- 清水亜希子, 下田亜希子(2005). 夫が求める助産師の関わり・出産に付き添った夫のバースレビューから明らかになったニーズ-. 母性看護, 36, 6-8.
- 多賀昌江(2007). 初めて「夫立ち会い分娩」をした夫の内的経験. 日本助産学会誌, 20(3), 103.
- 田島 朝信, 和田 京子(1995). 夫立ち会い分娩がもたらす精神的影響. 母性衛生, 36(1), 131-140.
- 高橋恭子, 井原まどか, 堤淳子他(2004). 立ち会い分娩が夫の育児・家事参加に与える影響について. 日本看護学会論文集: 母性看護, (35), 105-106.
- 武田順子(2012). 主体的な出産・育児に向けて地域助産師が行う妊娠期の支援に関する研究. 岐阜県立看護大学紀要, 12(1), 3-14.
- 田中恵美子(1998). 分娩後早期における父親の子どもに対する感情. 母性衛生, 40(2), 252-257.
- 谷川賀苗(2000). 自分らしいお産についての一考. 人間文化部研究年報, 31-36.
- 寺内友香, 野口真貴子, 久米美代子(2010). 初産婦の夫が立ち会い出産に対して抱いていたイメージと実際との相違. 日本ウーマンズヘルス学会誌, 9(1), 67-78.
- WHO(1985). Appropriate technology for birth. Lancet, 24, 436-437.
- WHO(1997). 59 か条お産のケア実践ガイド. 戸田律子訳. 農産漁村文化協会, 25.
- 横尾 京子(2011). 周産期におけるファミリーセンタードケアの実践. 日本新生児看護学会誌, 17(2), 5-8.